

* いわくに市議会だより

シー

See議会

No.56
令和2年11月発行

特 集

◎常任委員会
「市内調査視察を実施」

ネオワイズ彗星

2020年3月に発見された新彗星で、同年7月に地球に最も接近しました。

軌道は、放物線にごく近い橢円軌道で、次に地球に近づくのは5000年以上先といわれています。

撮影：岩国市行正（南河内）

主な内容

特集 「市内調査視察を実施」	2~3	一般質問	6~9
9月定例会のあらまし	4	12月定例会のお知らせ（予定）	9
意見書	4	常任委員会審査報告	10~11
全員協議会の報告	5	議会 Q&A	12
議案と審議結果	5	編集後記	12

特集

各常任委員会 市内調査視察を実施!!

「教育民生常任委員会」市内調査視察報告【7月22日（水）】

本委員会では、保育園及び学校施設の管理状況についての調査を行うため、市内にある多くの教育・保育施設の中から、えきまえ保育園、ひがし保育園、由宇中学校、灘小学校、装港小学校を選択し、令和2年7月22日に視察を実施しました。

現場職員の説明を受けながら各施設を直接視察し、施設の管理状況について確認してまいりました。教育施設においては、施設状況の確認の後、学校関係者と学校運営における現状や課題についての意見交換会も実施しました。

このたびの視察においては、各施設の実地調査やそこで働く職員の声を直接聞くことで、現場が抱えるさまざまな問題点を把握することができました。本委員会においては、これらの課題を現場のみで対応するのではなく、市の関係部署と一体となって、解決に向けて取り組めるよう情報の連携が改めて必要であると認識したところです。

今回の視察を踏まえ、今後も現場の実情把握に努め、本市における行政サービスの向上につなげてまいりたいと考えています。



えきまえ保育園視察



灘小学校体育館視察

「経済常任委員会」市内調査視察報告【7月27日（月）・8月6日（木）】

令和2年7月27日（月）及び8月6日（木）の2日間にわたり、地域の経済・観光に関する諸課題等を調査するため、市内の視察を行いました。

地域経済に関する主なものとしては、中小零細企業の後継者不足による事業承継や高齢化の問題、新型コロナウイルスの影響に対する岩国市プレミアム商品券発行事業への効果的な取り組み方などがありました。

観光に関する主なものとして、岩国観光プロモーション戦略協議会において一体的なプロモーションや観光誘客を図る取り組みが行われていることを確認しました。また、錦帯橋の世界遺産登録を推進している中で、周辺のまちづくりを総合的に考えることについての要望などがありました。

今回の視察では、さまざまな問題等に対し、市や各地域の団体等が連携して取り組むことの重要性が見えてきました。そのほかにいただいた多くのご意見等につきましても、今後の委員会活動に生かしてまいります。



岩国商工会議所視察



岩国市観光協会視察

岩国市議会の教育民生、経済、総務、建設の4つの常任委員会は、7月～8月、市内の各分野の現状及び課題等について調査視察を行いました。

調査視察後、各常任委員会では、その調査結果について協議し、岩国市議会の「提言書」としてとりまとめ、議長から市長へ提出しました。

今後は、一般質問、本会議・委員会での質疑等に生かし、市政に反映してまいりたいと考えております。

各常任委員会の報告内容は、次のとおりです。

「総務常任委員会」市内調査視察報告【7月28日(火)】

令和2年7月28日、午前中に、ハーモニーみわにおいて、美和管内の地域おこし協力隊、集落支援員、IJU（移住）応援団の方々にお集まりいただき、それぞれの活動内容をお聞きし、意見交換を行いました。

また、午後からは、錦ふるさとセンターにおいて、錦管内のやましろ体験交流協議会、集落支援員、錦川観光協会、IJU（移住）応援団の方々にお集まりいただき、それぞれの活動内容をお聞きし、意見交換を行いました。

両地域とも、地域の抱える課題に対して積極的に取り組んでおられることを確認することができ、有意義な視察を行うことができました。

今回の視察で皆さんからいただいた御要望などを検討させていただき、今後の委員会活動に生かしてまいりたいと考えています。



美和管内視察



錦管内視察

「建設常任委員会」市内調査視察報告【7月31日(金)】

令和2年7月31日(金)に、重要なライフラインである「水」に重点を置いて市内調査視察を実施しました。

岩国市みすみクリーンセンターでは、処理前の原液から排水までの浄化過程を確認し、最終工程を終えた処理水は信じられないほどの透明感でpH*等の各基準値も大きくクリアしており、本市の技術力と管理水準の高さを再認識することができました。

錦見浄水場では、水道水が出来るまでの工程と安全性を確認し、中でも多くの池で構成される濾過槽とその工程は、「岩国の美味しい水」を納得させるものでした。

平瀬ダムでは、水不足を補う事は勿論、何よりも豪雨災害を視野に入れた事前対策である「洪水調節機能」も大きな重要性を持つことを確認し、構想から完成まで約半世紀を掛けた大事業であり、時代を継承していくためには不可欠な事業であることを再認識しました。

各視察先で学んだ成果等を今後の委員会活動の参考としていきたいと思います。



錦見浄水場視察



平瀬ダム視察

*水溶液の性質（酸性、中性、アルカリ性）を表す値。

9月定例会のあらまし

9月定例会が、8月28日から9月25日までの29日間の日程で開催されました。

初日には、諸般の報告8件、監査報告3件、報告3件、諮問3件、令和元年度一般会計及び特別会計等の決算認定について13件、令和元年度一般会計及び特別会計等の補正予算、岩国市感染症拡大防止基金条例等22議案が上程されました。

諸般の報告では、F A -18と

K C -130の空中接触による墜落に関する事故再調査結果について、岩国飛行場におけるF -35 Bへの機種更新について、新港町二丁目の下水道工事に係る事故について等の報告がありました。

最終日には、各常任委員長

から委員会の審査経過及び結果について報告があり、全ての議案等が原案のとおり可決されました。

9月定例会が、8月28日から9月25日までの29日間の日程で開催されました。

初日には、諸般の報告8件、監査報告3件、報告3件、諮問3件、令和元年度一般会計及び特別会計等の決算認定について13件、令和元年度一般会計及び特別会計等の補正予算、岩国市感染症拡大防止基金条例等22議案が上程されました。

諸般の報告では、F A -18と

K C -130の空中接触による墜落に関する事故再調査結果について、岩国飛行場におけるF -35 Bへの機種更新について、新港町二丁目の下水道工事に係る事故について等の報告があ

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、我が国は、戦後最大の経済危機に直面している。地域経済にも大きな影響が及び、本年度はもとより来年度においても、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避けがたくなっている。

地方自治体では、医療介護、子育て、地域の防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応を初め、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財政不足を生じ、これまでにない厳しい状況に陥ることが予想される。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

- 1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
- 2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能の両機能が適切に発揮できるよう総額を確保すること。
- 3 令和2年度の地方税収が大幅に減収となることが予想されることから、思い切った減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
- 4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性を厳格に判断すること。
- 5 とりわけ、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹に影響する見直しは、土地・家屋・償却資産を問わず、断じて行わないこと。さきの緊急経済対策として講じた特例措置は、臨時・異例の措置として、やむを得ないものであったが、本来国庫補助金などにより対応すべきものである。よって、今回限りの措置とし、期限の到来をもって確実に終了すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年9月25日

岩国市議会

提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣

全員協議会の報告

令和2年9月24日（木）、岩国市議会議場において、「F-35Bへの機種更新について」を議題とする全員協議会を開催しました。

説明員として、国から、中国四国防衛局長、防衛省地方協力局地方調整課長、外務省北米局日米地位協定室長などに出席していただきました。

協議会においては、まず、中国四国防衛局長から、機種更新の概要と航空機騒音予測センターについて説明があり、その後、議会側から、会派ごとに質疑・質問を行いました。

その内容は、防音工事の対象区域の拡充や事務所・店舗等への補助対象の拡大に関すること、騒音問題に関することなどであり、それぞれの質疑・質問に対して、国からは、地元の皆様の思いを受けとめながら、誠心誠意対応してまいりたいとの答弁がありました。



岩国市議会副議長
片岡 勝則

9月定例会の決算及び議案に対する各議員の賛否を掲載しています

【全会一致で認定・可決された決算及び議案】

(決 算)

- ・令和元年度岩国市土地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・令和元年度岩国市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・令和元年度岩国市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・令和元年度岩国市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・令和元年度岩国市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・令和元年度岩国市周東食肉センター事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・令和元年度岩国市観光施設運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・令和元年度錦帯橋管理特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・令和元年度岩国市市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・令和元年度岩国市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・令和元年度岩国市病院事業会計決算の認定について
- ・令和元年度岩国市下水道事業会計決算の認定について

(議 案)

- ・令和元年度岩国市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
- ・令和元年度岩国市工業用水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
- ・令和2年度岩国市一般会計補正予算（第3号）
- ・令和2年度岩国市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

- ・令和2年度岩国市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- ・令和2年度岩国市介護保険特別会計補正予算（第1号）
- ・令和2年度岩国市觀光施設運営事業特別会計補正予算（第1号）
- ・令和2年度錦帯橋管理特別会計補正予算（第1号）
- ・令和2年度岩国市駐車場事業特別会計補正予算（第1号）
- ・令和2年度岩国市工業用水道事業会計補正予算（第1号）
- ・令和2年度岩国市病院事業会計補正予算（第1号）
- ・岩国市感染症拡大防止基金条例
- ・岩国市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例
- ・岩国市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- ・岩国市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例
- ・岩国市下水道条例等の一部を改正する条例
- ・岩国市営住宅条例の一部を改正する条例
- ・装束ポンプ場機械設備工事請負契約の締結について
- ・東小中学校プール・部室棟新築工事請負契約の締結について
- ・GIGAスクール用端末（iPad）の買入れについて
- ・市道上駄床1号線災害復旧工事（2工区）請負契約の一部変更について
- ・岩国市国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例

(議員提出議案)

- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

【本議会で賛否が分かれた決算】

（○=賛成、×=反対）

件 名	議決結果	憲政会										市政改革クラブ			公明党議員団			共産党		市民		同志会		志誠	小バ				
		片岡勝則	貴船	桑原敏幸	武田伊佐雄	田村博美	中村雅一	広中信夫	藤本泰也	松川卓司	松本久次	矢野匡亮	植野正則	片山原司	瀬村尚央	細見正行	河合伸治	桑田勝弘	越澤二代	中村豊	大西明子	小川安士	長岡辰久	重岡邦昭	広中英明	石原真	山本辰哉	丸茂郁生	姪野敦子
令和元年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○

※議長（藤本泰也）は採決に加わりません。

※会派名の省略は次のとおり 共産党=日本共産党市議団、市民=市民クラブ・草の根、志誠=志誠いわくに、リベ=リベラル岩国

⑤ いわくに市議会だより 令和2年（2020年）11月15日号

一般質問

市政を聞く

9月定例会では、23人の議員により、新型コロナウイルス感染症に係る対策をはじめ基地問題、教育問題、災害対策など、57項目にわたる質問が行われました。

※紙面の都合上、質問と答弁の内容を要約して掲載しています。

スマートフォンなどでQRコードを読み込んでいただくと、より詳細な質問内容が閲覧できます。



会派代表質問

会派代表質問

会派代表質問



大西明子
(日本共産党市議団)

問 中央公民館の建てかえ事業について

7月・8月にワークショップを開催しているが、地元への説明会を実施していない。地元の意見が反映された親しまれる施設にすべきであり、住民説明会を開催すべきではないか。また、閉館中の公民館活動の支援について問う。

答 閉館中の公民館活動を支援する

会派代表質問



松本久次
(憲政会)

問 オオサンショウウオを核とした施設の設置は

地域で取り組んでいる「まちぐるみ博物館」の一環として、商店街周辺の遊休施設を活用し、オオサンショウウオや淡水魚、錦川をテーマにした生物などを展示する施設で、子どもの研究、学習等教育の向上に寄与できる施設となる。「(仮称)錦川清流生物展示館」の施設設置について、市の考えを伺う。

答 他の地域資源とともに活用できるよう関係各所と協議する

会派代表質問



植野正則
(市政改革クラブ)

問 玖珂・周東総合支所統合について

本年10月1日に玖珂・周東総合支所が業務統合されるが、総合支所並びに支所が担う市民目線にたつた具体的な業務分担や職員配置と、市民に対する周知方法について伺う。

答 住民サービスの安定的提供体制を図る

会派代表質問



（職員課）

問 いわくに市議会だより 令和2年(2020年)11月15日号 ⑥

現在の予定では、令和4年度の解体工事から令和6年度末の新施設の完成まで、現施設での公民館活動はできなくなる。現在、建設活動はできなくなる。現在、建設基本計画を策定中で、11月に説明会を開催する予定である。今後は代替えとなり得る施設の情報を紹介し、引き続き活動していただけよう、きめ細かな支援を考えている。(生涯学習課中央公民館)

その他の質問項目

・ 基地の諸問題について
・ F-35Bへの機種更新について

（文化財保護課・
錦総合支所地域振興課）

会派代表質問



越 澤 二 代
(公明党議員団)

問 新生児への特別定額給付金支給について

4月27日を基準日として特別定額給付金が支給された。コロナ禍の厳しい状況の中、子育て世帯では精神的な負担や不安が生じており、4月28日以降に生まれた新生児に対しても子育て応援のための特別定額給付金を支給する自治体も増えてきている。

コロナ禍の子育て支援として、特別定額給付金を基準日以降に生まれた新生児へ支給することについて問う。

答 これまで実施している支援策を実施していく

コロナ禍の厳しい状況の中、子育て世帯の皆さんには、平時とは異なる負担が生じていることは承知しているが、これまで実施している「いわくに子宝給付金」等、各種子育て支援策を継続して実施していくことで支援を行っていただきたい。

(子ども支援課・政策企画課)



山 本 辰 哉
(同志会)

問 法人市民税減免も視野に入れていいく時期に来たのではないか。

答 防音工事の補助対象施設を事務所・店舗等に拡大することについては国との協議は進んでいる。

法人市民税の減免に関しては、本市の歳入の4分の1を占める重要な要素不可欠な財源となつてゐるため、実現は難しい。国との協議を加速して、いち早く実現できるように努力していく。



田 村 博 美
(憲政会)

問 コロナ禍の中での文化芸術振興について、何でも「中止」ではなく、できる方法はないのか。

答 錦帶橋芸術祭は規模を縮小、市民文化祭は半分以上が中止、美術展覧会は感染対策を講じて開催。しかし、文化芸術団体への支援についての具体策はない。



中 村 豊
(公明党議員団)

問 認知症の人が徘徊中に起こした不慮の事故に対する保険を、全額公費で負担する制度導入について問う。

答 救済制度として整備する必要があると考えてあり、先進事例を踏まえ、導入について検討を進めていく。

問 死亡届後の手続の負担軽減に向けての、おくやみ窓口について問う。窓口設置の前に、おくやみハンドブックの早期完成を検討している。



矢 野 匡 亮
(憲政会)

問 梅雨前線豪雨における災害対応について

答 本市管理の老朽化した河川施設については、予算の中で優先順位を定め、計画的かつ効果的な改修を行う。



河 合 伸 治
(公明党議員団)

問 インターネット環境の整備されていない家庭へのWi-Fiルーターの貸し出しについては、契約ギガ数を制限すると学習に支障が出ることが懸念され、無制限にすると通信料の負担が重くなる。どのように対応する考えか伺う。

答 ギガ数は大容量を考えている。利用料については、個人契約と違い、かなり安くできると考えている。

問 その他の質問項目
・SDGsの取組みについて

答 「道路通報アプリ」の導入については、破損状況や的確な場所が素早く特定でき、迅速かつ適切に補修できるため、大変便利なツールであることから前向きに導入を検討したい。



石 原 真
(同志会)

問 市民がスマホを使って、道路の陥没や側溝の損傷などの不具合を、写真と地図情報付きで市に通報することのできるアプリの導入をしてほしいがが。

答 「道路通報アプリ」の導入については、破損状況や的確な場所が素早く特定でき、迅速かつ適切に補修できるため、大変便利なツールであることから前向きに導入を検討したい。

***** 9月定例会/一般質問 *****



武田
伊佐雄
(憲政会)

問 平成28年から計画が遅れてい
る養護老人ホーム静風園の建て替
えについて、進捗状況を質問し
た。

答 今年度中に土地取得を完了さ
せるため、候補地取得に向けて平
成30年12月から6回の交渉を重ね
てきたが、取得に至らなかつた。
今後については、社会情勢の変
化も踏まえ、市内の養護老人ホー
ムの効率的な運用等について再検
討したいとの答弁があつた。

問 山口型放牧は、畜産農家の經
営にも、荒廃農地の有効利用にも、
また、自然環境の保全対策にも効果
的だが、実績が停滞している。
県は実証実験を行つてゐるが、ど
のように状況か。今後、放牧がます
ます必要になるので、牛の増頭が必
要ではないか。

答 まだ実験結果は出でていない
が、公表されたら検討する。農家に
お願ひし、貸出候補牛の増加に努め
たい。



小川安士
(日本共産党市議団)

問 热中症対策として、駅周辺な
どへのドライ型ミストの設置と、
公園への小さな噴水の設置を要望
する。

答 駅周辺のドライ型ミストの設
置は、地域の要望があれば、熱中
症対策の一つとして管理者等の意
見を踏まえ総合的に検討する。
公園への噴水設置は、地域の要
望があれば、公園のプールに噴水
または、シャワーのようなものが
設置可能か検討する。



丸茂郁生
(志誠じわくに)



問 女性活躍社会の今日、働くお
母さんにとって保育支援は重要であ
る。現在0歳のクラスは休日保育を
利用できないが、対応が必要ではな
いか。

答 就労環境も大きく変化し、保
育のニーズも高まっており、休日保
育の年間利用者も増加傾向にある。
市内の公立保育園の保育士にてシ
フトを組んでいるが、1歳児クラス
以上の園児に限定している。今後、
利用状況に応じて対応したい。

問 市内最古の中央公民館御庄分
館及び併設する御庄出張所は、老
朽化が著しい。地元の協力で、市
が建設予定地を確保して既に20年
が経過しているが、未だに建て替
えが実現していない。今後の整備
方針を問う。

答 現在中断している地元の皆さ
んとの意見交換会を年内に再開
し、建設的な協議を重ね、年度内
に方針を固めるくらいのスピード
感を上げて取り組んでいきたい。



姫野敦子
(リベラル岩国)



広中信夫
(憲政会)

12月定例会のお知らせ(予定)

11月26日(木)	本会議(開会 議案等上程 説明 質疑 委員会付託)
12月7日(月)～11日(金)	本会議(一般質問 ※10日(木)・11日(金)は予備日)
14日(月)	経済常任委員会
15日(火)	教育民生常任委員会
16日(水)	建設常任委員会
17日(木)	総務常任委員会
22日(火)	本会議(委員長報告 質疑 討論 採決 閉会)

※会期日程は、変更になる場合があります。

詳しくは議会事務局にお問い合わせくださいか、市議会ホームページを
ご覧ください。

(議会事務局 議事課 TEL 29-5193)



委員会審査報告

経済常任委員会・教育民生常任委員会・建設常任委員会・総務常任委員会

経済

委員長	松川
副委員長	小川
委員	片山
細見	安士
正行・松本	原司・越澤
久次	二代・藤本
	泰也

認定第1号 令和元年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について

問 商工費の商工総務費の地域ブランド推進関係費に關し、物件委託料の内容について伺う。

答 国の地方創生交付金を活用した事業で、主に岩国初のお土産統一ブランド「つまんできょんまげ」の商品開発や、そのプロモーションに係る業務委託となつてゐる。令和元年度は、第1期商品として、市内9事業者により、合計12の商品が開発され、岩国錦帯橋空港のスカイショッピング・アイアイで1ヶ月間、テスト販売を実施したところである。また、本格販売に向けた体制づくり等の支援もこの業務の中に含まれている。

問 テスト販売を実施することにより、見えてきた課題や

現状について伺う。

答 本格販売に向けて、商品のパッケージや食品表示を見直すこと、生産体制を強化することなどが課題として挙がつてゐる。

また、市内事業者の2次募集を行い、令和2年度は首都圏での本格販売を実施する計画であつたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、方針を転換することになり、まずは県内での本格販売を実施する準備を急ピッチで進めている。

結果 全会一致で認定すべきものと決定

経済常任委員会に付託されたその他の決算、議案も、全会一致で認定、可決すべきものと決しました。

QRコード

教育民生

委員長	武田
副委員長	丸茂
委員	石本
長岡	伊佐雄
辰久・姫野	郁生
辰久・姫野	崇・桑田
辰久・姫野	勝弘・桑原
辰久・姫野	敏幸
辰久・姫野	敦子・矢野
辰久・姫野	匡亮

認定第1号 令和元年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について

問 外国人については生活保護法の適用対象ではないという最高裁判決が出ているが、今なお外国人が生活保護を受給していることについて、どのように考えているのか。

答 外国人に対する生活保護の措置については、昭和29年の厚生省社会局長通知において「生活保護法第1条により、外国人は法の適用対象とならないのであるが、当分の間、生活に困窮する外国人に対しては一般国民に対する生活保護の決定実施の取扱に準じて必要と認める保護を行うこと」と示されており、本市においても当該通知に基づいた措置を行つてゐるところである。

問 当該通知が出されてから既に66年が経過している。「当分の間」というには長すぎると考

えるが、当局の見解を伺う。また、生活保護制度においては、市の財源がかなり充てられていて、独自の判断で制度を運用することも可能なではないか。

問 生活保護制度は、各自治体が生活保護法に基づき措置を行つてきているが、もともとは国の制度であり、外国人に対する生活保護の取り扱いを各自治体で定めることは難しいのではないかと考へる。他市においても、本市と同様に生活保護事務を実施している状況であり、今後も調査・研究を行つてまいりたい。

結果 全会一致で認定すべきものと決定

教育民生常任委員会に付託されたその他の決算、議案も、全て全会一致で認定、可決すべきものと決しました。

QRコード

9月25日の本会議で、各常任委員会の委員長から審査報告がありました。

主な審査内容と結果を要約して掲載しています。

※各常任委員会の審査報告にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどでQRコードを読み込んでいただくと、より詳細な内容が閲覧できます。

建設

委員長	山本	辰哉
副委員長	中村	豊
委員	植野	正則・貴船
広中	英明・藤重	齊・中村 雅一 建治

認定第1号 令和元年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について

結果 全会一致で認定すべきものと決定

問 公園で固定されたままの遊具が残っているが、更新はどのように考えているのか。また、トイレの更新やバリアフリー化について伺う。

答 遊具については計画に基づき随時更新を行っている。トイレについてはバリアフリー化、洋式化等の改修を順次進めている。

問 空き家の確認方法及び空き家の件数を伺う。

答 大まかな数字は総務省の調査結果で確認しているが、平成26年度の調査結果では、約3,600戸の空き家が確認されている。

結果 全会一致で認定すべきものと決定

問 所有者の特定が困難になることから、早期の再調査を行うべきではないのか。

答 自治会総会等において説明会や空き家対策セミナーを開催している。



総務

委員長	広中	信夫
副委員長	田村	博美
委員	石原	真・大西 明子・片岡 勝則
河合	伸治・重岡 邦昭・瀬村 尚央	

認定第1号 令和元年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について

うな業務が民間に委託することが可能か、調査結果を踏まえて、今後も市民サービスの向上という点を重視し、調査・研究しながら、できることから進めてまいりたい。

問 男女共同参画推進費のワークライフバランス推進費に関して、事業内容についてはまずは市役所で実践することが重要で、市職員の推進についてどのように考えているのか。

答 事故により人命が失われたことは痛恨の極みである。常に工事と事故は隣り合わせだということをしつかりと再認識し、緊張感を持つて業務に当たりたい。また、御遺族の方々にも誠意ある対応を請負業者とともにに行ってまいりたい。

問 市民課窓口業務調査分析を業者に委託し、ほとんどの業務が委託可能のことだが、市民課の窓口業務は個人情報を扱う部署でもあり、このような部署の業務を民間に委託することについて、どのように考えているのか。

答 市民課の窓口業務の全てを民間に委託するのではなく、どのよ

うな業務が民間に委託することが可能か、調査結果を踏まえて、今後も市民サービスの向上という点を重視し、調査・研究しながら、できることから進めてまいりたい。

問 いわくにふるさとワーキングホリデー事業の実績に関して、参加者の感想と今後の方針をどう考えるか。

答 現地を実際に体験することで岩国を知ることができ、とてもよかつたという感想もあったことから、今後も継続して事業を実施してまいりたい。

反対討論があったため採決

結果 賛成多数で認定すべきものと決定 (賛成6人・反対1人)

総務常任委員会に付託されたその他の決算、議案は、全会一致で認定、可決すべきものと決しました。

答 市民課の窓口業務の全てを民間に委託するのではなく、どのよ

議会 Q & A

定例会と臨時会

本会議は、全議員で構成する議会の最終意思を決定する会議です。

市議会には、定期的に開かれる「定例会」と、必要に応じて開かれる「臨時会」があり、市長が招集します。

「定例会」は、岩国市議会定例会条例で年4回と定められており、3月、6月、9月、12月に開かれます。

「臨時会」は、緊急を要する案件が生じた場合に開かれる会議です。

いずれの場合も会期（議会の会議を行う期間）を定め、その会期中に本会議や委員会を開いて、議案の審議等を行います。

市議会は会期中に活動するのが原則ですが、会期中に結論が出なかった案件については、閉会中であっても委員会を開いて審査することがあります。



議場内に、心が和む「生け花」 ～9月定例会～

9月定例会は、草月流岩国の方に生け花を生けていただきました。

議場では、市民の皆様の生活に直接関わる重要な問題について、活発な議論が交わされますが、ほっと心が和みます。

議会広報特別委員会委員長	細見 広中	中村 中	中村 長	田植	矢野 山本
副委員長	正行 明夫	豊信 雅一	久美 博美	正則 则匡	亮哉 崔哉

「50年に一度の大雨」という言葉を、マスク等でよく耳にします。災害は、いつ、どこで、どのくらいの規模で起くるか予想がつきません。いくら災害に備えても十分ということはありません。市議会では、今後も市と連携して、安全を全てに優先させた災害対策に取り組んでまいります。議会広報特別委員会では、「議会だより」の構成の見直しや、紙面で伝えきれない事項をQRコードで誘導するなど、紙面のリユースを進めています。これからも、幅広い年代の人々に親しまれる、わかりやすい紙面づくりに努めてまいります。

編
集
後
記